

スタディサプリを活用した日本語初期適応指導

【蒲郡市教育委員会】

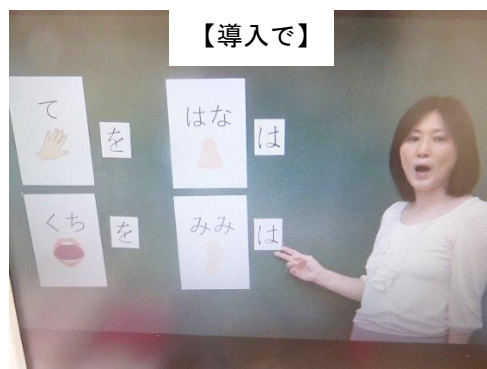
蒲郡市には、日本語初期適応指導教室(きぼう教室)がある。その教室に通う外国人児童生徒や各校に在籍する外国人児童生徒がICT機器を活用し、日本語の学習や学校生活について学ぶことができるよう、スタディサプリ(学習支援ソフト)を活用した蒲郡市教育委員会の取組を報告する。

- 児童生徒は一人一台タブレット端末を利用して授業を行っている。
- きぼう教室での日本語学習と同じ内容の学習を在籍校でも行っている。
- 日本語の発音や、発声する時の口の形など、講義動画を見せて、真似させている。
- 1時間の日本語指導の導入として、7分程度の講義動画を見る時間を設定している。



【発音練習で】

【講義動画を見ながら手拍子を打ち、日本語の拍を感じながら長音(おばあさん)の発音練習をしている】



【導入で】

【助詞「を」「は」の使い方を学習する際、導入として講義動画を視聴している】



【在籍校で】

【在籍校で、きぼう教室と同じ講義動画を見ながら、発音の練習をしている】



【担任が】

【日本語指導担当ではない教師(担任など)が、講義動画を見せながら、日常会話を教えている】

愛知県教育委員会では、本年度、日本語初期指導の動画を作成して、県内市町村教育委員会へDVDを配付するとともに、県立学校が導入したリクルート社のスタディサプリ上でも視聴できるようにした。